



広域広報

# おきたま

No.14

平成7年(1995年)

12/15



川西町立大塚小学校では、全校生徒で花いっぱい運動に取り組んでいます。校庭には、町の花であるダリアをはじめサルビア、マリーゴールド、ペゴニア、ヒマワリ、ゴールデンピラミッドなど春から秋までたくさんの花々があふれています。



(8月撮影)



## 置賜広域行政の『ごみ処理基本計画』を策定

# 減量化 資源化 圏域一丸で積極推進

置賜の三市五町(米沢、長井、南陽の三市と高島、川西、飯豊、白鷹、小田の五町)から排出される一般廃棄物は、置賜広域行政事務組合が処理処分を行っています。年々増え続けるごみの排出量に歯止めをかけるため、このほど「ごみ処理基本計画」を策定しました。

同計画が目指す大きな目的は廃棄物の資源化、リサイクル、そして生ごみ等の堆肥化を積極的に推進し、ごみの減量化と資源化を図ることです。

現在、三市五町の家庭から排出される一般廃棄物、いわゆる燃やせるごみと、燃やせないごみは、高島町大字夏茂地内にある千代田清掃事業所と長井市成田地内にあ

る長井清掃事業所で処理し、小国町小坂地内にある小国清掃事業所では燃やせるごみだけを焼却処理しています。この三施設を合わせ

た焼却処理能力は一日当たり百九十五、です。燃やせないごみは、粗大ごみとともに処理していますが、これは長井と千代田の両清掃事業所で処理しています。

一方、焼却灰や粗大ごみ施設で破砕処理した資源にならない物は不燃ごみとして埋め立てられますが、その最終処分場は米沢市大字浅川地内と小国町小坂地内、川西町の眺山地内、それに白鷹町の民間業者に依頼しています。

## 生ごみの堆肥化で減量化を

ごみの激増とその処理、処分問題は国内だけでなく今や国際問題にまで発展しています。このような時代を背景に、国では昨年「循環型社会基盤整備事業」という新たな制度が設けられました。

その要旨はごみを廃棄物として単に燃やしたり、燃やせない物は埋め立てするだけでなく、資源化やリサイクルできるものは分別回収し省資源時代に対応した取り組みをすること、また、生ごみの堆肥化、更には焼却炉から出る膨大

な熱エネルギーも発電等に活用し、これまでのように捨てる、処分するという觀念から「生かす、有効利用する」といような考え方に変わっていくというものです。

このほか「容器包装リサイクル法」も今年六月に公布され、循環型社会の実現へと踏み出しております。

これら時代の趨勢、動向を踏まえ策定したのが置賜広域行政事務組合の「ごみ処理基本計画」です。



分別回収を今後も積極的に推進

### 余熱利用で発電を計画

同基本計画は前述のとおり、ごみの排出抑制と資源ごみの再利用・リサイクルを積極的に推進することをねらいとしています。

排出抑制の具体的な方策としては①資源ごみの集団回収強化 ②生ごみ堆肥化の奨励 ③指定ごみ袋の導入と手数料徴収の検討 ④ごみ減量審議会・推進員制度の設置などです。また、再資源化対策としては①資源ごみの分別収集 ②不用品の再利用 ③中間処理施設(各清掃事業所)での有価物回収などです。なお、来年度から老朽化した三つの焼却施設を一本化し、新しい焼却施設の建設にも着手する計画ですが、その中では余熱利用として発電も折り込んでいます。

三市五町が一丸となって展開する運動の指針となるのがこの計画です。



年々増え続けるごみ、ピットからあふれてたごみ。(5月の連休明け千代田清掃事業所で撮影)



平成6年度一般会計歳出決算額は、

# 3,467,322,410円

平成6年度  
決算報告

去る十一月十三日、置賜広域行政事務組合議会十一月定例会において、本組合の平成六年度一般会計及びふるさと市町村圏事業費特別会計歳入歳出決算が承認されました。

## ▼一般会計

歳入 三十六億三千五百四万九千六百八円  
歳出 三十四億六千七百三十二万二千四百十円

この結果、歳入歳出差引額は、一億六千七百七十二万七千九百九十八円となり翌年度に繰り越しました。

歳入		歳出		単位：円
3,005,709,682	基金及び 交付金	議 会 費	3,150,795	
305,108,016	手数料及び 手数料	注 合 費	182,010,753	
10,326,000	国庫支出金	電 算 共 同 処理事務費	740,142,661	
7,163,000	県支出名	民 生 費	297,619,213	
2,422,555	財産収入	衛 生 費	1,718,598,721	
16,259,150	繰入金	公 債 費	517,000,862	
198,453,896	繰越金	合 計	3,467,322,410	
12,157,309	諸収入			
17,400,000	組合費			
50,000	寄付金			
3,535,049,608	合 計			

歳入歳出差引額 167,727,198円

## 各市町の分担金

歳入の84.3%を上めている各町からの分担金の額は、次のとおりです。

米沢市	1,217,278,033
長井市	321,950,253
南陽市	357,889,872
高島町	196,182,667
川西町	188,430,563
白鷹町	182,136,553
飯豊町	108,033,469
小国町	100,100,491
合 計	2,672,001,906円

※交付税措置分、福祉事務所措置分は除く

## 主な事業

組合費では置賜地方奥と磐前地域基六計画策定や電算共同処理事業、民生費では南陽やすらぎ社のアイルム拡張事業、また、衛生費では、各清掃事業所の処理施設のオーバーホールや設備の修繕等を行いました。

## 処理量の内訳

1. 尿処理量	101,267㎥	(対前年比 2.0%減)
可燃ごみ処理量	41,808t	(対前年比 0.9%増)
不燃ごみ処理量	15,065t	(対前年比 8.0%減)
死亡獣畜処理頭数	815頭	(対前年比 62頭増)

## ▼特別会計

### 基金の果実は二千五百五十一万八千六十七円

「花びきり人成るいきいき置賜」をキャッチフレーズに、花と人材育成に係るソフト事業を展開しているふるさと市町村圏事業費特別会計の決算額は、歳入四千三百六十四万六千六百四十四円、歳出三千三百三十三万三千三百三十七円となりました。歳入のうち主なものは、基金(十億円)の呉実(利息)である「財産収入」が二千五百五十一万八千六十七円、「繰越金」が一千五百七十一万一千六百六十七円などです。

一方、歳出のうち主なものは、花の回復整備助成金交付事業など花の回復整備事業費八百二十万七千七百二十七円、広域広報の発行など置賜花だより事業費三百六十四万三千二百四十円、フラワー探検隊派遣事業などの人材育成事業費四百六万一千二百一円などです。

この結果、歳入歳出差引額は、一千二百六十八万八千六百七十九円となり、翌年度に繰り越しました。





た村づくり (我が村を美しく運動: 金賞入賞地)



ドイツ シュテルネンフェルス村のワーグナー村長を囲んで (左から高橋頼子さん、樋口幸子さん、梅津恵子さん、ワーグナー村長、伊藤隆和さん、事務局)

去る八月二十七日から九月五日までの十日間、置賜広域ふるさと市町村園広域活動計画「花の北斗七星事業」の一つである「フラワー探検隊派遣事業」として隊員四名をドイツ、フランスの二か国に派遣しました。

まずドイツでは、環境全体を考える花のまちづくり運動である「我が村を美しく運動」について研修しました。フランスフルトからシュバルトバルト(黒い森)地方に向かって南下し、途中、マンハイム、ハイデルベルグ、カールスルーエを経由し、「我が村を美しく運動」で金賞に輝いた人口二千七百人の小さな村シュテルネンフェルスでは、村長さんと懇談しながら運動の経緯、そして住民の取り組み方などについて研修しました。この中で村長さんは「人間が表した経緯は必ず緑をもって補う。人間と動・植物が共存できる環境にしなければならぬ」という考えのもと運動を展開しているというのでした。

次にフランスでは、フランスの庭園と呼ばれるほど美しい町と古城が点在しているロワール地方を視察しました。ここ

## ドイツ・フランスの花のまちづくり



※ □ は行政訪問



フランス 訪れる人を花でもてなすサンフランボー村



フランス ボージュンシー市の裏通り。場所に応じた花飾りが印象的でした。(F.F運動: 四つ花入賞地)





フランス 中世の家並みと花飾りが印象的な街コルマー (トト運動：四つ花入賞地)



ドイツ シュテルネンフェルス村の景観に配慮し



フランス コルマーのカフェレストラン

では、フランスの花いっぱい運動であるFF運動(フランスを花で飾ろう運動)で最高賞の「四つ花賞」を受賞したサンフランボワール市やサンフランボワール村を視察しました。特にサンフランボワール村はヨーロッパの花のまちづくり国際コンクール「アンタント・フロラール」においても最優秀賞受賞の経歴を持つ村です。畑や牧草地が延々と続く間を走ってこの村に入るのと花飾りの家が並び、どの家も個性的でしかも連続性があり感動的でした。村長さんは「この村の花のまちづくりは二十年前に三人の主婦が家を花で飾ることから始まり、たちまち広がった。『心に一輪の花を』のスローガンのもと、村民たちはこのような方法で観光客をとりこにする村の活性化に貢献している。これは村民のためまぬ努力の結果だ」と話してくれました。

花のまちづくりは、手間や費用の面などの問題点を解決して、その成果が目に見えて現れるまでに長い年月を要しますが、隊員たちには今回一掃に行った仲間たちをはじめ、これまでのフラワーマン探検隊の隊員の方々など置賜地域に同じ意を持つ方がいることを励みに花いっぱいの仕掛人になって、垣根に根ざした花のまちづくりを実践していけることを期待しています。



フランス サンフランボワール村の民家の花飾り (FF運動：四つ花、国際コンクール：グランプリ入賞地)



フランス









## 花のまちづくりコンクールで 建設大臣賞を受賞

(高島町)

十一月十六日、十七日、東京都で行われた(財)日本花の会主催の第五回花のまちづくりコンクール表彰大会で、高島町が最高賞である建設大臣賞を受賞しました。

このコンクールは「花のまちづくり運動」の中心として、花と緑あふれる心豊かな生活環境をつくるために提唱されたものです。

高島町では、平成元年度に「花と緑のまちづくり宣言」をし、道路沿いや公園、河川敷、学校など町内自か所に花壇を設置し、プラントナーは、町内のいたる所に二千個以上設置し、色とりどりの花を咲かせています。



表彰式の様子

また、町、各地区、各団体が連携を図り、これらの花の管理にあたっていきます。

今回の受賞は、このような取り組みが高く評価されたものです。これを契機に、置賜地域全体で花のまちづくり運動をさらに進めていきたいと思います。

## おきたま研究所が発足

本組合では、平成三年度から国内の地域づくりの先進地を視察するフラワー探検隊派遣事業を実施し、置賜地域の次世代を担う青年たちを国内外に派遣してきましたが、その数は平成六年度までで四十九名に達しました。

この隊員の方々から、広域的な地域づくりの実践とヒューマンネットワークの形成を図りたいという声が高まり、このほど「おきたま研究所」が発足し、その設立総会が去る十二月六日、米沢市内を会場に開催されました。総会では規約制定と役員選出、平成七年度事業内容が協議され、原案どおり決定されました。

この後、福島大学の下平尾教授を迎えて「21世紀に向けての地域づくり・人づくり」というテーマで記念講演が行われ、「広域的に地域づくりを考えると単独の市町

では考えられないような可能性がたくさんあります。この研究では、様々な可能性を追求して目的を達成してほしい」と結ばれました。

本組合でも今後、この研究所を支援していきます。

現在の研究所の所員は二十六名で、平成七年度役員は次の方々です。

- ・ 所長 今野 正明 (白鷹町)
  - ・ 副所長 山下 和枝 (又沢町)
  - ・ 幹事 鈴木 均 (米沢市)
  - ・ 幹事 口上 一敏 (長井町)
  - ・ 幹事 平 美佐子 (長井市)
  - ・ 幹事 江口 英治 (南陽市)
  - ・ 幹事 遠藤 節子 (川西町)
  - ・ 監事 我妻 雄子 (米沢市)
  - ・ 監事 小島 栄一 (高島町)
- (敬称略)



設立総会の様子

## お問い合わせ先

米沢市	課	0238-22-5111	1代
長井市	課	0238-84-2111	1代
南陽市	課	0238-40-3211	1代
高島町	課	0238-52-1111	1代
川西町	課	0238-42-2111	1代
白鷹町	課	0238-85-2111	1代
飯豊町	課	0238-72-2111	1代
小国町	課	0238-62-2260	1代

## 十一月定例会を開会

本組合十一月定例会は、十一月十二日に開かれました。この議会では、まず平成六年度一般会計及びふるさと市町村圏特別会計歳入歳出決算が上程され、原案どおり承認されました。

次に、本組合の手数料等の徴取に関する条例の一部改正について審議され原案どおり可決された後、平成六年度一般会計補正予算として、歳入歳出合わせて一億六千六百九十万円増額補正や、平成六年度特別会計補正予算として、三百六十万円の増額補正が上程され、いずれも原案どおり可決されました。

また、退職による監査委員の後任として、両陽町の二瓶精藏氏の選任が同意されました。



# 花自慢



種から育てたそばの花。  
10月に収穫し、そば打ち  
が楽しみです。

米沢市大字笹野  
井上 忠昭さん  
みよのさん

2mもある自慢のテッポウユリ。  
サルビアをはじめマリーゴールド  
など毎年たくさんの花を育て  
ています。

米沢市窪田町  
佐藤トミ子さん



## 花自慢しませんか。

花いっぱい運動や花の名所など、花に関する事で自慢できる  
ことがありましたらお知らせください。

- 連絡先 米沢市金池3丁目1-55  
置賜広域行政事務組合企画室企画係  
TEL 0238(23)3246 FAX 0238(24)4659

## 花たち

### ポインセチア



別名 ショウジョウボク  
花の色 桃、白、深紅ほか  
花ことば 祝福する

私の名前はポインセチア。  
今から百年ほど前に一面銀世界の  
クリスマスマスのに咲く花として、全  
世界のクリスマスチャンに広まり、ク  
リスマスフラワーと呼ばれるよう  
になったのよ。今では小さい鉢植  
えにして、クリスマスプレゼント  
として贈られることもあるの。  
メキシコ生まれの私は、寒い所  
がとて苦手。だからお部屋の窓  
際などに飾ってね。  
今年のクリスマスは、私と一緒に  
過ごしませんか。

## 花壇を設置しました(長井市)

花の回廊整備事業として、本年度は長井  
市の「長井市勤労センター」前に花壇を設  
置しました。来春には、きれいな花を見る  
ことができますのでお楽しみに。



花ことば：つばき (理想の恋)